

平成30年度学校評価報告書

平成31年 3月28日

北海道静内高等学校長 加 澤 雅 裕

1 本年度の重点目標

- 1 誇りと自信に満ちあふれた社会の形成者として、未来を創造する力を身につける。
- 2 地域を愛し、心身ともに自立した人間を育成する。
- 3 主体的に考え、協働し、真理の探究に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育活動	【学習指導】 ○創意工夫した授業改善による学習指導の充実 は一定程度の効果が得られた。 ○家庭学習時間の定着などについては工夫を重ねたが成果は今ひとつであった。	○実態調査により、表現力や行動力の育成に ついての重要性が見える。注力して欲しい。 ○保護者も含め、地域の理解を得ながら、学 校の教育活動に対する支援体制を作ってい ければと考えている。
改善方策	○「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の 改善の推進のための実践研究」を活用し、教材研究を充実させ、さらなる授業改善を進める。 ○家庭学習の必要性を、保護者の理解も得ながら、生徒に自覚させるとともに、家庭学習用課題 の工夫も行う。	
教育活動	【生徒指導】 ○いじめのない環境づくりの推進は、効果があ り、いじめの発生はなかった。 ○生徒の生活態度の健全化や精神的成長に力を 入れ、一定の効果があつた。	○いじめの防止に向けた取組を工夫しながら も継続して子どもたちが安心して学べる学 校であって欲しい。 ○地域の児童生徒の集まりの中ではリーダー シップを発揮する静内高校生の姿を目にし て誇らしく感じている。
改善方策	○生徒たちの普段の会話にも目を配り、「優しい言葉」について考えさせるなど、会話の質の向 上も目標に生徒指導にあたる。 ○生徒たちが自発的に取り組む生徒会行事「スピリット オブ しずこう」の発展的改善や、「ど さんこ☆サミット子ども会議」への生徒参加等とおして、いじめの未然防止につながる啓発 を一層推進する。 ○いじめ未然防止に関する教員研修を引き続き実施する。	
教育活動	【進路指導】 ○10年連続就職内定率100%の実現と、国公立大 学合格者の増加など、効果的に進路指導がで きた。 ○進路通信の発行や適切な情報発信など、生徒 一人一人に視点を当てたきめ細かな進路指導 が、将来を見通したキャリア教育に繋がった。	○進路実績や部活動の活躍などを見ても、先 生方の取組の高さは十分に評価できる。 ○説明のあった働き方改革の趣旨はわかるが、 部活動で得る達成感や人間関係などは決して 小さくない。良さを失わない改革を望む。 ○教員集団のまとまりが一層大切になってく ると思う。
改善方策	○生徒への進路面談指導を今まで以上に丁寧に行い、生徒の進路活動への充実感や納得感を更に 引き上げる。 ○進路希望調査用紙に、その進路を希望する理由と自分自身の特性を書く欄を増やすなどの改善 を図り、生徒の自己評価と客観的評価の差を把握してミスマッチを防ぐ指導を行う。	
公表方法	・学校HPに自己評価書及び学校関係者評価書を掲載する。 ・PTA役員会等において公表する。	